

令和3年6月30日
島根県防災部防災危機管理課
担当：長廻、吉永
電話：0852-22-6486

第38回島根県対策本部会議の開催結果について

本日、標記会議を書面にて開催し、下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

記

1. 県内の感染状況を踏まえた県の対応について
 - ・令和3年7月11日までの県の対応について、別添「島根県の対応」のとおり決定

(参考)

令和3年6月18日本部決定の「島根県の対応」からの変更点

- ①飲食店の利用方法について、人数と時間を拡大
- ②不要不急の外出自粛や、県境を越えた不要不急の移動の自粛を要請している都道府県名の時点修正

新型コロナウイルス感染症の県内発生状況（6月29日時点）

昨年4月に県内で初めて感染者が確認されてから6月29日までに、計553人の感染が確認されました。

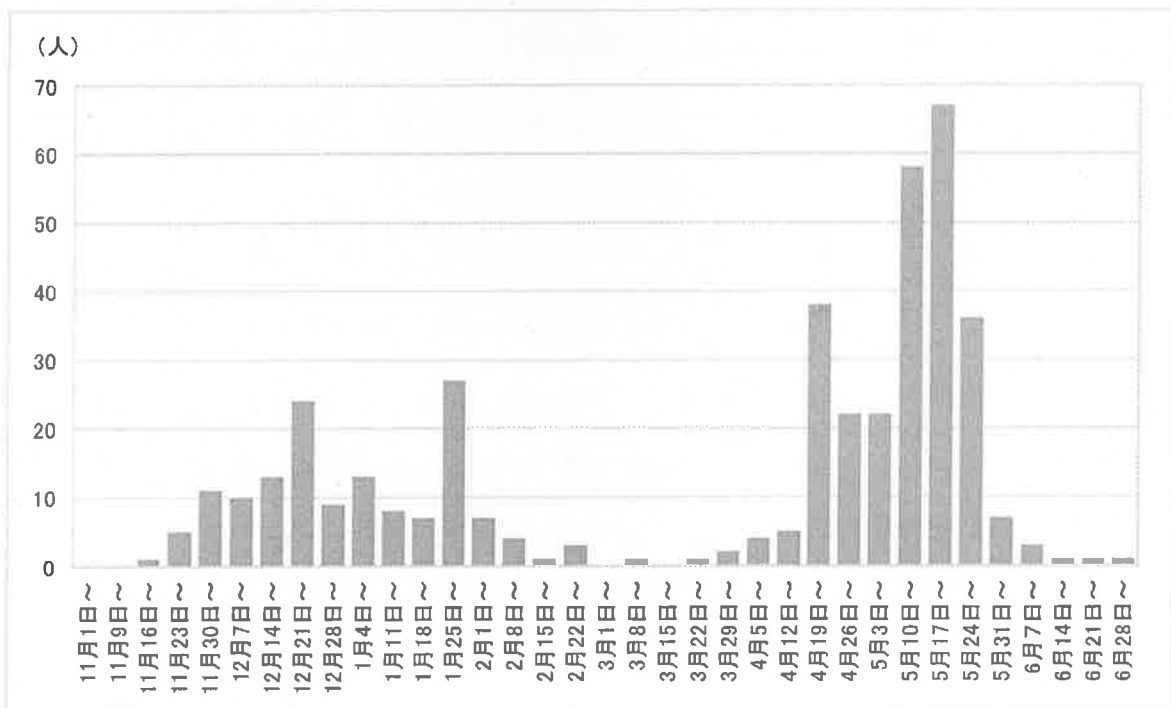
このうち、5月は189人、6月は29日までに11人の感染が確認されています。

1. 6月の陽性患者の発生状況

陽性判明日	陽性	区分	備考
6月1日	1人	543例目（益田市）	
6月3日	1人	544例目（松江市）	
	1人	545例目（大田市）	
6月6日	2人	546、547例目（雲南市）	
6月8日	1人	548例目（松江市）	
6月11日	1人	549例目（松江市）	
6月12日	1人	550例目（松江市）	
6月14日	1人	551例目（雲南市）	
6月25日	1人	552例目（松江市）	
6月28日	1人	553例目（出雲市）	

11人

2. 11月以降の陽性患者の発生状況



※上記日付は週単位の集計

3. 病床確保状況及び使用率

確保病床数 (A)	即応病床 (B)	入院患者数 (C)	病床利用率	
			確保病床 (C/A)	即応病床 (C/B)
324床	146床	3人	0.9%	2.1%



4. 軽症者等の宿泊療養

患者の増加に備え、軽症者や無症状者の療養用の宿泊施設として3施設98室を確保

- ・ 島根県立青少年の家「サン・レイク」 (出雲市・33室)
- ・ 島根県立少年自然の家 (江津市・20室)
- ・ 玉造国際ホテルRivage Choraku (松江市・45室)

島根県の対応（案）

島根県対策本部決定

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針及び県内の感染状況を踏まえ、県民に対し、以下のとおり要請する。

要請の期間は、令和3年7月11日までとする。

1. 緊急事態措置を実施すべき区域である、沖縄県との往来を控えること。

まん延防止等重点措置を実施すべき区域である、北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県及び福岡県との往来を控えること。

緊急事態措置を実施すべき区域から、6月20日をもって除外された都道府県で、まん延防止等重点措置を実施すべき区域に該当しない、岡山県及び広島県との往来を控えること。

この他に、宮城県、富山県、石川県などのように都道府県が住民に対して、不要不急の外出自粛や、県境を越えた不要不急の移動の自粛を要請している地域との往来については、慎重に判断すること。特に、発熱等の症状がある場合は、往来を控えること。

ただし、やむを得ない仕事や、転勤、就職活動、葬儀、看病・介護などでの往来は、発熱等の症状がある場合を除き、控えて頂く必要は

ないこと。

2. 職場や家庭での感染を防ぐため、感染リスクが高まる「5つの場面（飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わり）」に注意し、引き続き、

- (1) 「三つの密」の回避
- (2) 「人と人との距離の確保」
- (3) 「マスクの着用」
- (4) 「手洗いなどの手指衛生」

など、基本的な感染対策に取り組むこと。

単身赴任中のご家族など、自宅等に県外から帰県された方がいる場合には、家庭でできる感染予防対策、

- (1) 会話をする時は自宅でもマスクを着用
- (2) ドアノブや電気のスイッチなど手で触れる共用部分の消毒
- (3) 石けんでのこまめな手洗いやアルコール消毒
- (4) 窓を開けておくなど定期的な換気
- (5) 寝室を分ける
- (6) 洗面所等のタオルやコップを共有しない
- (7) 大皿の料理を避け、食器や箸等を共用しない

などを徹底すること。

3. 発熱や風邪等の症状がある方は、仕事や学校を休み、外出を控え、すみやかに、かかりつけ医、又はしまね新型コロナウイルス感染症「健康相談コールセンター」に連絡のうえ、医療機関を受診すること。

各職場においても、職員の体調がすぐれない場合は、すみやかに医療機関への受診を促すなど、健康管理を徹底すること。

4. 飲食店等の利用について、各店舗において感染拡大防止対策を徹底してもらうこと、県民の皆様にも、そうした店舗を利用して頂くことを前提として、

(1) 「県外の方との飲食」は、引き続き、ノンアルコールの場合を含め、県内でも県外でも、控えること。

(2) 飲食の際の人数を、12人以下とし、県外の方と飲食された方や、県外の方の自宅で宿泊をされた方、県外からご家族やご親戚の方が自宅に帰省された方は、2週間経過するまでは参加を控えること。

(3) 時間については、複数の店舗を利用する場合も含めて、合計で2時間を限度とすること。

(4) 「接待を伴う飲食店」については、引き続き、

① 県外での利用を控えること。

② 県内でも、県外の方との利用を控えること。

(5) カラオケの利用が可能な店舗等では、マスクの着用やマイク、

リモコン等の消毒、歌唱にあたっては十分な距離を確保するなど、感染防止対策を徹底すること。

ただし、いずれの事項も、鳥取県と、生活（通勤、買物等）圏域に属する広島県・山口県の一部の地域については、県内と同様に取り扱う。

5. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点で、適切な室内環境（温度、湿度等）を維持しつつ、十分な換気を行うこと。
6. 感染拡大防止のため、各業界団体が主体となり、業種ごとに実施すべき基本的事項を整理した「感染拡大予防ガイドライン」を再度確認し、実践すること。
7. イベント開催の目安については、別紙の「島根県の対応」によること。
8. 厚生労働省が提供している接触確認アプリ（COCOA）を、感染拡大防止のため、積極的にインストールし、活用すること。
9. 事業所においては、在宅勤務（テレワーク）、時差出勤、自転車通勤など、人との接触を低減する取組を行うこと。
10. 感染した方やその関係者などに対する、インターネットや SNS での誹謗中傷、うわさ話などは厳に慎み、県や市町村などの公的機関が発信する情報に基づき、人権に配慮した冷静な行動をとること。

島根県の対応（令和2年11月20日島根県対策本部決定）

【12月以降のイベント等開催制限について】

(1) 感染防止対策と経済社会活動の両立のため、新たな日常の構築を図る。徹底した感染防止対策の下での安全なイベント等開催を日常化していく。

(2) イベント等の人数上限及び収容率要件については、当面の間、原則として現在の取扱いを維持することとする。

(3) その上で、令和2年11月12日付の内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長の事務連絡「来年2月末までの催物の開催制限、イベント等における感染拡大防止ガイドライン遵守徹底に向けた取組強化等について」に基づき、収容率要件について、12月以降、大声での歓声、声援等がないことを前提とするイベント（クラシック音楽コンサート等）を100%以内、大声での歓声、声援等が想定されるイベント（ロック・ポップコンサート等）を50%以内とする現行制限を維持した上で、飲食を伴うが発声がないもの（映画館等）は、追加的な感染防止策を前提に100%以内とする。マスク常時着用、大声禁止等の担保条件が満たされていない催物は、引き続き、50%以内とする。

(4) 屋内施設で、大規模なイベント等（参加者1,000人超又は全国的な人の移動を伴うもの）の主催者等は、県に事前相談を行うものとする。

時期	大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの	大声での歓声・声援等が想定されるもの
12月1日から 当面の間	イベント等の類型 ・クラシック音楽コンサート、演劇等、舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、公演・式典、展示会等 ・飲食を伴うが発声がないもの（注2）	・ロック、ポップコンサート ・スポーツイベント、公営競技、公演 ・ライブハウス・ナイトクラブでのイベント等
	人数上限（注1） 5,000人または収容定員の50%のいずれか大きい方	
収容率	100%以内 (席がない場合は適切な間隔)	50%以内 (席がない場合は十分な間隔)

(注1) 収容率と人数上限のどちらか小さい方を限度とする。

(注2) これまで、「イベント中の食事を伴う催物」は、大声での歓声・声援等が想定されるものと扱ってきたが、今後、必要な感染防止策が担保され、イベント中の発声がない場合に限り、イベント中の食事を伴う場合についても、「大声での歓声・声援等がないことを前提としうるもの」と取り扱うことを可とする。